

平成30年度長野県支部の定期総会・講演会の開催について

本年度の長野県支部定期総会並びに講演会が、平成30年7月22日（日）に諏訪湖の湖畔に位置する上諏訪温泉「ホテル紅や」で開催されました。当日は公務ご多忙中にもかかわらず、大学から浅利昌男学長、本部同窓会から福山守会長にご臨席を賜りました。定期総会には会員31名が出席し、小林文範（S47年卒業）支部長の挨拶に始まり、ご来賓からのご祝辞に続き、伊沢幸光（S53年卒業）議長の進行により本年度の事業・収支予算案などの議案の全てが満場一致で承認され、無事終了しました。

総会に続く講演会は、本県ご出身の本学生命・環境科学部教授の古畑勝則氏に講師をお願いし、「レジオネラ（肺炎の原因菌）の分布について」と題して身近に生息するレジオネラに関する興味深いご講演を賜りました。

総会、講演会の終了後は恒例の懇親会が浅利学長、福山会長、古畑教授、そしてお忙しい中福山会長の奥様にもご参加いただき、和やかに盛大に開催されました。懇談の最後は全員で校歌や寮歌を大声で歌い上げ、福山会長や応援団OBの音頭により「フレーフレー麻布」でお開きになりました。その後もホテル宿泊者を中心に浅利学長、福山会長ご夫婦を囲んで二次会に移行し、いつも通りのカラオケ大会で盛り上がりました。また途中には湖畔での花火大会も鑑賞でき、思い出に残る楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

最後になりますが、浅利学長、福山会長におかれましては、今回も本県会員のために遠方から駆けつけて頂き、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

長野県支部事務局 平沢久史

